

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

文化の発展に貢献する万年筆をつくる

② 中長期の経営戦略

1. 独自技術による差別化

世界で唯一の21金ペン先の技術的優位性を訴求。プロフェッショナルギア アンカー万年筆など高付加価値製品を投入

3. 新開発インク搭載商品

プラス・ペンてる・セーラー3社共同開発のQue Seráインク搭載ボールペンを2026年2月上市

2. 製品ミックス最適化

金価格高騰対応として非金素材ペン先製品を拡大。TUZUシリーズ拡充やPB提案で利益率改善

4. 顧客接点強化

試筆イベントや万年筆Buffet等の体験型イベント実施。海外Shop in Shop展開を4店舗から9店舗に倍増

③ 対処すべき課題

① 国内外での景気低迷

- ・国内個人消費鈍化で定番金ペン万年筆の売上低迷
- ・中国景気停滞や米国関税の影響で中価格帯万年筆が不調
- ・原材料価格高騰で利益圧迫が継続

② 営業損失の連続計上

- ・ロボット機器事業は企業設備計画の中止・先送りで打撃
- ・米国市場は準備手続で予想外の時間要費で営業活動不足
- ・親会社株主帰属純損失が連続発生

③ 経営環境の不確実性

- ・国際情勢不安定化と為替変動リスク
- ・米国関税政策や原材料価格高騰の継続
- ・グループ内連携強化による効率化対応が急務

面接で使えるポイント

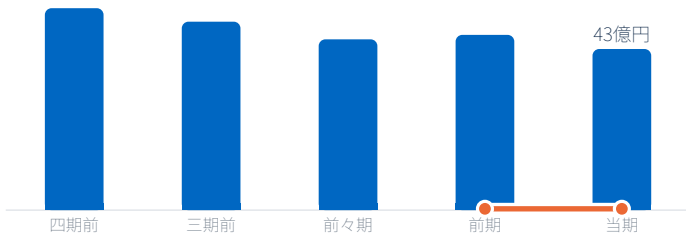
- ・世界で唯一の21金ペン先という技術優位性で、コレクター層をターゲットした高付加価値製品を展開している点
- ・2025年にプラスグループとの営業統合を実現し、グローバルな販売網強化を推進している点
- ・ロボット機器事業でIoT・AI・機械学習を活用したスマートファクトリー化ソリューション提案に注力している点

セーラー万年筆株式会社

その他製品 | スタンダード（内国株式） | 決算期 12月31…

証券コード 7992

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
43億円

営業利益率
▲4.6%

財務健康度
9点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 24.8（当サイト算出の参考指標）

平均年収
402万円

その他製品内 104位/105社

平均年齢
42.9歳

その他製品内 46位/105社

平均勤続
17.3年

その他製品内 22位/105社

女性管理職
4.8%

その他製品内 58位/83社

男性育休
100.0%

その他製品内 18位/63社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 東広島市×セーラー万年筆株式会社 豊かな森づくりに向けた

セーラー万年筆株式会社 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyو-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書

将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。

投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

